

## 令和元年度 「学校評価結果」

### 教育目標

「生きる力（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育み、  
自らの将来と次代を切り拓く生徒を育成する」

### 年度末の最終評価

自己評価	<b>教育目標の達成状況，次年度に向けた見直し</b> ＊施設・設備の条件が厳しい中で前向きに日常の活動に取り組む生徒の姿が見られる。 ＊学力の向上については，特に現２年生に顕著に表われている諸課題を踏まえた授業改善が求められる。 ＊登校できない生徒に寄り添い，支える取組が引き続き求められる。
学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b> ・体育館の建替え工事に伴い、学校の施設や部活動を含めた環境に様々な制約がある中、教員各位の尽力と生徒諸君の理解により、生徒が日常の活動に前向きに取り組んだことは大いに評価できる。 ・学力の向上に関して、現２年生に対する授業改善を図るためにはその具体策を明示し関係者に共有することが次年度以降の効果確認のために肝要である。 ・登校できない生徒への寄り添いと支援は重要であることは言うまでもないが、その具体策を明示し関係者に共有することが次年度以降の効果確認のために肝要である。 ・各種指標結果について、１・２年生とも０（努力を要する）が増えているところ、生徒アンケートの「そう思う」の大幅な下降が気になる。 ・２年生は他の学年にはないカラーを持ち合わせていると思われるので、その良さを伸ばす働きかけによって、各指標の数値が改善されると思う。

### 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和元年 10 月 31 日	学校運営協議会第 2 回理事会
最終評価	令和 2 年 3 月 17 日～24 日	学校運営協議会第 3 回理事会（資料配布と意見集約）

### （１）「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

#### 重点目標

- ① 入学時から必ず力をつけて卒業させる。指導と評価→結果に責任をもつ。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた質の高い授業への創意工夫を進める。

#### 具体的な取組

- ◇授業では「本時の目標」を確認し，生徒同士が協働的に行う「まとめ・振り返り」を取り入れ理解と定着を徹底する。
- ◇授業規律を確立し，発言や発表の機会を多く設け生徒中心の授業，深い学びに向かう授業を行う。
- ◇新しい３学期制のもと，PDCA サイクルを生かしたカリキュラム・マネジメントを実践し，年間計画に基づいた評価時期までの学習計画を明確にし，「つけたい力」を確実に身につけさせる授業を展開する。

- ◇学年・教科で連携し、授業と連動した課題の内容とその提示方法に工夫・改善を行い、自主的な家庭学習の習慣化を図る。
- ◇課題の発見・解決に向けた主体的・対話的な学びを重視し、思考・発信型の授業を行う。
- ◇教師による ICT の活用にとどまらず、生徒にも ICT 機器を活用したプレゼンテーションを行わせる。
- ◇図書室を活用した授業を全教科で年 1 回以上行い、調べ学習等、情報収集や活用能力を高める。
- ◇キャリア教育の視点から全教育活動を関連づけるとともに、「総合的な学習の時間」における探究的な学びを重視する。

#### (取組結果を検証する) 各種指標

◇ジョイントプログラム5, 学習確認プログラム, 全国学力学習状況調査の結果分析

◇学期末における学習評価

◇生徒アンケート

- あ) 毎時間の授業で、「自分で考える」ことができている。
- い) 毎時間の授業で、「自分の考え」について発言・発表することができている。
- う) 毎時間の授業で、「自分の考え」について交流し合い深めることができている。

### 中間評価

#### 各種指標結果

◆社会・数学・理科・保健体育（1 学期末・7 月評価）における「思考力・判断力」観点の評価

- 1 年生 A（十分満足できる）…26.9 B（概ね満足できる）…44.1 C（努力を要する）…29.0
- 2 年生 A（十分満足できる）…28.5 B（概ね満足できる）…36.6 C（努力を要する）…34.8
- 3 年生 A（十分満足できる）…24.7 B（概ね満足できる）…50.9 C（努力を要する）…24.4

◆生徒アンケート

- あ) 授業では「自分で考える」場面が設けられている。  
 そう思う…57.0 大体そう思う…38.3 あまりそう思わない…3.8 そう思わない…0.9
- い) 授業では「自分の考え」について話す場面が設けられている。  
 そう思う…52.3 大体そう思う…41.3 あまりそう思わない…6.4 そう思わない…0.0

#### 自己評価

##### 分析（成果と課題）

- ◆「思考力・判断力」観点の評価について、3 年生・2 年生の結果を前年度後期の 2 年生・1 年生と比較するといずれも改善が見られる。特に現 2 年生は A が +16.4 ポイント、C が -6.9 ポイントと大きい。
- ◆生徒アンケートについては設問を変更しているため単純な比較はできないが、肯定的な回答割合が +8 ポイント、+14.9 ポイントとなっている

##### 分析を踏まえた取組の改善

- ・授業における「思考」「発信」の場面設定は着実に進んでいるものと捉えられる。これを継続する中で生徒自身の学習する力を高めることができているかが問われる。
- ・授業者の側が「思考力」「判断力」等をどのように捉えているのかを明らかにする必要に迫られる。

##### (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

◇校内の学習評価に学習確認プログラムの結果分析を加えて、「学力向上」の成果を見る指標とす

	<p>る。</p> <p>◇各教科において、生徒の「思考力」「判断力」等の捉え方をふまえ、いかなる「評価指標」を設定しているのか？を点検する</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>＊学校全体が前向きで落ち着いた雰囲気の中で教育活動が進められており安心できる。</p> <p>＊引き続き、生徒の力を伸ばす取組が進められることを願う</p>

#### 最終評価

	<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>◆社会・数学・理科・保健体育（2学期末・12月評価）における「思考力・判断力」観点の評価</p> <p>1年生 A（十分満足できる）…15.5 B（概ね満足できる）…47.0 C（努力を要する）…37.5</p> <p>2年生 A（十分満足できる）…24.2 B（概ね満足できる）…39.0 C（努力を要する）…36.7</p> <p>3年生 A（十分満足できる）…23.2 B（概ね満足できる）…52.7 C（努力を要する）…24.1</p> <p>◆生徒アンケート</p> <p>あ）授業では「自分で考える」場面が設けられている。</p> <p>そう思う…49.4 大体そう思う…45.1 あまりそう思わない…3.0 そう思わない…2.5</p> <p>い）授業では「自分の考え」について話す場面が設けられている。</p> <p>そう思う…48.1 大体そう思う…43.5 あまりそう思わない…6.8 そう思わない…1.7</p> <p>◆学習確認プログラム 社会・数学・理科における「思考・判断・表現」に関わる出題についての正答率の状況</p> <p>1年生（Basic2）社会 41.9 数学 40.2 理科 41.9 …概ね全市平均程度</p> <p>2年生（Pre3）社会 48.3 数学 40.3 理科 35.0 …いずれも全市平均を5ポイント程度下回る</p> <p>3年生（2nd St）社会 55.0…全市平均をやや上回る 数学…概ね全市平均程度</p> <p>理科 54.0…全市平均を4ポイント程度上回る</p>
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>◆「思考力・判断力」観点の評価については、1年生でAが－11.4ポイント、Cが＋8.5ポイントと大きく下げた。各教科における学習内容がより深く複雑になることを反映している。2年生も同様の傾向が見られることは課題である。3年生については大きな変化はない</p> <p>◆生徒アンケートではいずれの設問についても「そう思う」が減り、「大体そう思う」が増えている。この傾向は、3年生よりも1年生・2年生で顕著である。3年生においては夏季休業以降も授業における「思考」の場面が適切に機能していると見られる。</p> <p>◆現段階では2年生の教科指導における「思考力・判断力・表現力等」の涵養について課題が大きい。3年生においては3年間の教科指導の成果が認められる。</p> <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>・授業における「思考」「発信」の場面設定は着実に進んでいるものと捉える。学年ごとの生徒集団の持ち味を生かしながらも教科会や学力向上委員会で情報交換と協議を進め「より効果のある授業」の実現を目指す。</p> <p>・前項の協議において、授業者の側が「思考力」「判断力」等をどのように捉えているのかを明らかにすることが必要である。</p>

	<p><b>重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>① 入学時から必ず力をつけて卒業させる。指導と評価→結果に責任をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生においてはおおむね達成できた</li> <li>・2年生においては大変厳しい状況であり、次年度の課題は大きい</li> <li>・1年生においては達成できる見通しは立っている</li> </ul> <p>② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた質の高い授業への創意工夫を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年を横、教科を縦とみて全校的な一貫した取組によって実現を目指す。</li> </ul>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>・現2年生の学習確認プログラムのポイントなどで確認される学力向上への取り組みは、新3年生として学校全体をけん引する立場を担わせるためにも極めて重要。</p> <p>中間評価時にも確認の「生徒のチカラを伸ばす取組」の具体策を明示し関係者に共有することが、令和2年度の新3年生への指導のみならず、今後の安祥寺中学校の学校運営のモデルとして肝要である。</p> <p>・「思考力・判断力等の評価」において1年生のAが大幅に下降し、その反動でCが上昇しているところ、各教科の難易度が上がったことに起因するとは考えられるが、この数字を一つの今後の考察材料とし、2年生の中間評価時には数字が改善されていることを期待する。</p> <p>・2年生においても厳しい状況が見て取れるが、最終学年である3年生で学習の姿勢を再形成するように導き、数字が改善されることを期待する。</p>

## （２）「豊かな心」の育成に向けて

<p><b>重点目標</b></p> <p>① <u>主体性、自主・自律、向上心を育む指導を推進する。</u></p> <p>② 「ほめる」ことを大切にし、「向上心」を育てる教育を実践する。</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <p>◇あいさつや声かけを徹底し、生徒との信頼関係を築き、規律ある学校にする。</p> <p>◇常に目配り・心配りを心がけ、見逃しのない指導・機動力ある組織的な指導を行う。</p> <p>◇<u>生徒会活動や学級活動において生徒の自治意識を高める取組を推進する。</u></p> <p>◇<u>道徳の授業を要とした道徳教育を充実する。</u></p> <p>◇授業や学活では必ず一人一人全員への声かけと一人一人全員の発話を引き出すことを心がける。</p> <p>◇良さを伸ばし、課題に向き合う姿を支援する。</p> <p>◇個で取り組む場面、仲間と協力する場面、それぞれで適切な指導と評価を行い、達成感を味わわせるとともにさらなる改善向上への支援を行う。</p> <p>◇不登校生徒や困りをかかえた生徒に対して計画的な支援を行う。</p>
<p><b>（取組結果を検証する）各種指標</b></p> <p>◇道徳の時間の評価</p> <p>◇生徒アンケート</p> <p>あ）学級での活動や、生徒会本部・各委員会から提案される活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>い）道徳の時間には自分のことを振り返り、深く考えることができている。</p> <p>◇クラスマネージメントシート</p>

## 中間評価

### 各種指標結果

#### ◆道徳の時間の評価

生徒が「深く考えた」とする項目

A 主として自分自身に関する事 …36.1

B 主として人とかかわりに関すること …27.8

C 主として集団や社会とかかわりに関すること …22.8

D 主として生命や自然、崇高なものとかかわりに関すること …13.3

#### ◆生徒アンケート

あ) 学級での活動や、生徒会本部・各委員会から提案される活動に積極的に取り組んでいる。

そう思う…36.2 大体そう思う…48.5 あまりそう思わない…11.5 そう思わない…3.8

い) 道徳の時間には自分のことを振り返り、深く考えることができています。

そう思う…36.6 大体そう思う…52.8 あまりそう思わない…8.5 そう思わない…2.1

#### ◆クラスマネージメントシート

いずれの学級においても「子どもたちにとってとても居心地のよい雰囲気」「子どもたちにとって居心地のよい雰囲気」「子どもたちにとって落ち着いた雰囲気」という評価である。

「友だちとのつながり」において男子のスコアが低い学級が1クラス、「自己開示」において女子のスコアが低い学級が1クラスみられる。個別に課題のある子どもがいる可能性を踏まえて、丁寧に対応することが求められている。

### 自己評価

#### 分析（成果と課題）

◆道徳の項目については昨年度の前期・後期のいずれと比較しても（A）への偏りが大きい。

◆生徒アンケートは あ) い) とも2年生における「そう思う」の割合が1年・3年に比べて低くなっている

#### 分析を踏まえた取組の改善

- ・道徳の授業については年間を通じてみれば、よりバランスのとれた状態になることが期待される。これに向けて、引き続き1時間ずつ丁寧な授業づくりを進めていく。
- ・学級活動と生徒会活動については、生徒会本部役員選挙から新旧引継、新体育館完成関連行事、「生き方探究・チャレンジ体験」等の取組を通じて、2年生の意識を変えていく
- ・クラスマネージメントシートの内容について教職員が共有し、教科指導を含めたあらゆる場面で丁寧な観察と指導を進める

#### （最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

◇道徳の時間の評価

◇生徒アンケート

あ) 学級での活動や、生徒会本部・各委員会から提案される活動に積極的に取り組んでいる。

い) 道徳の時間には自分のことを振り返り、深く考えることができています。

◇クラスマネージメントシート

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	<p>＊2 年度に亘って体育館が使えない，工事ヤードによって教育活動のスペースが狭められるという厳しい条件の下で，生徒が「荒れる」ことなく成長している様子は心強い。引き続き丁寧な関わりを期待したい。</p> <p>＊不登校生徒が増加している点は大変気がかりである。</p>

## 最終評価

自己評価	中間評価時に設定した各種指標結果
	<p>◆道徳の時間の評価（学年末）</p> <p>生徒が「深く考えた」とする項目</p> <p>A 主として自分自身に関する事 …18.8</p> <p>B 主として人とのかかわりに関する事 …20.4</p> <p>C 主として集団や社会とのかかわりに関する事 …34.6</p> <p>D 主として生命や自然，崇高なものとのかかわりに関する事 …26.3</p> <p>◆生徒アンケート</p> <p>あ）学級での活動や，生徒会本部・各委員会から提案される活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>  そう思う…35.2  大体そう思う…47.0  あまりそう思わない…14.4  そう思わない…3.4</p> <p>い）道徳の時間には自分のことを振り返り，深く考えることができている。</p> <p>  そう思う…37.0  大体そう思う…53.2  あまりそう思わない…6.4  そう思わない…3.4</p> <p>◆クラスマネージメントシート</p> <p>学級認知については「子どもたちにとってとても居心地のよい雰囲気」「子どもたちにとって居心地のよい雰囲気」「子どもたちにとって落ち着いた雰囲気」のほか，「子どもたちにとって比較的落ち着いた雰囲気」という評価の学級もある。前期よりはやや評価の下降が認められる。</p> <p>個別に課題のある子どもがいる可能性を踏まえて，丁寧に対応することが求められている。</p>
	分析（成果と課題）
	<p>・道徳の授業について年間を通じてみると，4 項目のバランスは大きく変動し，C 集団や社会とのかかわり」D「生命や自然，崇高なものとのかかわり」について深く考えたとする生徒が多い。この傾向は 3 年生において特に顕著である。道徳の授業が機能していると考えられる。</p> <p>・生徒アンケート（あ）について全校集計では大きな変化はない。学年別に見ると 3 年生で「そう思う」が 5 ポイント減少し 2 年生では「そう思う」が 4 ポイント増加している。生徒会活動の主たる担い手が交代したことを反映していると考えられる。</p> <p>・クラスマネージメントシートにおいて前期には見られなかった「比較的落ち着いた雰囲気」というやや低い評価が 2 クラス現れたことについては次年度の糧としたい。</p>
	分析を踏まえた取組の改善
	<p>・道徳の授業が機能していることは心強い。</p> <p>・3 年生の安定感に比べると 2 年生に不安定さがみられることは心配な要素と捉えることもできるが，むしろ中学校での途中経過としては必然であると捉え，3 年生になって成長する姿を紡ぎだして丁寧に見とるいくことが学校の責務である。</p>
	重点目標の達成状況，次年度の課題
	<p>・ここ数年，本校で定着してきた「一生懸命な 3 年生がかっこいい」という価値観を生徒が継承していくことを大人が適切に支えることに尽きる。</p>

学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間の評価で、生徒が「深く考えたとする項目」は中間評価時点から、A：自分自身に関することから B：集団や社会、C：生命や自然に関することへ項目の指標が変わっていることは評価できる。3 年生は部活を終え、受験を控え、これまでの自分とは違う視点を持てるようになった結果が、C と D のポイント上昇につながったのではないかと推察する。精神的な成長が見受けられ、良い傾向ではないかと思う。</li> <li>・反面、2 年生については不安定さがみられるということで、最高学年としての立ち居振る舞いができるよう、教員と共に家庭での声掛けも必要になってくるのではないかと考える。</li> <li>・引き続き学校運営の重点項目として「一生懸命な 3 年生がかっこいい」という価値観を生徒が継承し醸成できるように、学校関係者一丸となって支援していくことが重要である。</li> </ul>

### (3)「健やかな体」の育成に向けて

<p><b>重点目標</b></p> <p>① 「命を守りきる」「事故・けがの未然防止」を常に念頭に置く。</p> <p>② 笑顔であいさつする生徒を育てる。</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇<u>体育館建替え工事期間中、安全を徹底し、創意工夫ある教育活動を推進する。</u></li> <li>◇校内外の清掃活動を徹底する。</li> <li>◇タイムリーかつ創意工夫ある掲示物を掲示する。</li> <li>◇<u>学校営繕ならびに安全管理、救命講習等、平常時の危機管理を徹底する。</u></li> <li>◇防災訓練等で「もしも」に対する備えを行う。</li> <li>◇生活習慣の確立を支援し、健康を保持・増進する意識と態度を育てる。</li> <li>◇体育的行事や部活動の充実を図り、体力の向上を推進する。</li> <li>◇性に関して適切な行動選択ができる性教育を行う。</li> <li>◇飲酒・喫煙・薬物乱用の有害性、危険性について正しい知識を身につけさせる。</li> </ul>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇事故・けがの発生件数とその内容</li> <li>◇校内施設・設備点検票</li> </ul>

### 中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <p>◆保健室利用状況</p> <p>【外科的内容】107 件（前年度同期 187 件）</p> <p>1 年生 33 件（51 件） 2 年生 36 件（49 件） 3 年生 38 件（87 件）</p> <p>【内科的内容】135 件（前年度同期 261 件）</p> <p>1 年生 52 件（73 件） 2 年生 44 件（59 件） 3 年生 39 件（129 件）</p>	<p><b>自己評価</b></p> <p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>◆学校生活全体の安定感が増していると見られる。スポーツ振興センターへの申請状況から見てもけが人が減少している</p>
---	--

	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育科を中心に体力測定等の分析を進め、教科指導、生徒会活動と諸行事を通じて「体づくり」を進める</li> </ul>
	<div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <p>◇事故・けがの発生件数とその内容</p> <p>◇校内施設・設備点検票</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもたちの生活のありようが大きく変わっていることが、安祥寺中学校区の子どもたちの体に良くない影響を及ぼしていることが危惧される。</li> <li>*地域行事を通じて子どもの体づくりに貢献したいと考える。中学生の参加状況は芳しくはない。</li> </ul>

#### 最終評価

<div>中間評価時に設定した各種指標結果</div> <p>◆スポーツ振興センター災害共済給付からみた「けが」の状況 4月～7月は0, 3, 1, 2    8月～12月は2, 1, 2, 3, 5    1月～2月は8, 5</p> <p>◆保健室来室状況は 4月～7月は月平均 60.1    8月～12月は 115.6    (うち9月～11月は 148.7)    1月～2月は 88.0</p>	
自己評価	<div>分析 (成果と課題)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆12月末に体育館が完成し1月から使用を開始したが、突き指、骨折が増えた</li> <li>◆10月10日の体育大会前は、練習中のけがと熱中症様の体調不良による保健室来室が増えた</li> </ul>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりについて各学級でも意図して取上げ、健康維持やけが防止の意識を高める</li> <li>・生徒会 美化保健委員会の活動においても取り上げる</li> </ul>
	<div>重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <p>◇体育館建設工事に伴う様々な制約に対して、生徒・教職員ともよく耐え、創意工夫を重ねることで大きな事故を起こすことなくさらに教育活動を進めることができた。次年度は、新しく整備された施設・設備を十分に活用し、健やかな体づくりを安全に進める</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身共の健やかな育成を図るための具体策を明示し関係者に共有することが今後の安祥寺中学校の学校運営のモデルとして肝要である。</li> <li>・体育館が新しくなり、地域としてもこの体育館で活動する子どもたちの体力や競技のレベルが高まり、各方面で安祥寺中学が素晴らしい成績を残すことを願う。怪我に気をつけて頑張ってください。</li> <li>・体育館が竣工し、活動の場が広がったことによる怪我の増加ということですが、骨折が増えたことが少し気がかりである。</li> </ul>



#### (4) 学校独自の取組

重点目標	9年間の教育目標 (中学校ブロックの小・中学校で共有すること)
「次代をたくましく生き抜く力を育てる」	
目指す子ども像 (中学校ブロックの小・中学校で共有すること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① しっかりとあいさつのできる子ども</li> <li>② 意欲的に取り組み、やり切る子ども</li> <li>③ <u>自ら学ぶ子ども</u></li> <li>④ 自分、人、ものを大切にする子ども</li> <li>⑤ 健康、安全に気をつける子ども</li> </ul>
具体的な取組	<p>☆学力向上を核とした小中連携の中心的役割を担い推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中4校の管理職による定期的協議 (年間6回程度)</li> <li>・小中4校の教務主任、小中連携主任による定期的協議 (年間8回程度)</li> <li>・小中4校研究主任による定期的協議 (年間5回程度)</li> <li>・小中4校生徒指導部長、生徒指導主任による定期的協議 (年間5回程度)</li> <li>・小中4校連携による教科指導ならびに道德の授業を通した交流、参観、研究協議</li> </ul>
(取組結果を検証する) 各種指標	<p>◇学習評価における「関心・意欲・態度」評価の状況</p> <p>◇生徒アンケート</p> <p>あ) 授業にはやる気の出る雰囲気がある</p> <p>い) やる気の出る授業は〇〇である</p>

#### 中間評価

各種指標結果	<p>◆9教科 (1学期末・7月評価) における「関心・意欲・態度」観点の評価</p> <p>1年生 A (十分満足できる) …46.1 B (概ね満足できる) …43.3 C (努力を要する) …10.6</p> <p>2年生 A (十分満足できる) …44.0 B (概ね満足できる) …40.8 C (努力を要する) …15.2</p> <p>3年生 A (十分満足できる) …42.0 B (概ね満足できる) …46.9 C (努力を要する) …11.1</p> <p>◆生徒アンケート</p> <p>あ) 授業にはやる気の出る雰囲気がある</p> <p>そう思う…30.6 大体そう思う…48.5 あまりそう思わない…19.6 そう思わない…1.3</p>
自己評価	分析 (成果と課題)
	<p>◆3年生は2年生時と比べて改善が見られる。A (+7.3ポイント) C (-4.2ポイント)</p> <p>2年生は1年生時と比べて改善も見られる (Aが+4.4ポイント) が一方で2極化が進んでいる (Cが+4.3ポイント)</p> <p>◆生徒アンケート結果について2年生の「そう思う」が1年・3年に比べて低い。しかし、1年後期と比較すれば倍増している。</p>
分析を踏まえた取組の改善	

	<p>・指導者側としては「授業づくり」の精度を高めていくことを引き続き柱とする。</p> <p>・学習評価の材料についても点検を進める。</p>
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <p>◇学習評価における「関心・意欲・態度」評価の状況</p> <p>◇生徒アンケート</p> <p>あ) 授業にはやる気の出る雰囲気がある</p> <p>い) やる気の出る授業は〇〇である</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>*学校での取組を進めることの重要性とともに、家庭学習習慣を形成することの重要性が見える。</p> <p>*家庭の力を高めるための方策を検討したい</p>

#### 最終評価

	<p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <p>◆9 教科 (2 学期末・12 月評価) における「関心・意欲・態度」観点の評価</p> <p>1 年生 A (十分満足できる) …44.8 B (概ね満足できる) …40.3 C (努力を要する) …14.9</p> <p>2 年生 A (十分満足できる) …40.2 B (概ね満足できる) …38.2 C (努力を要する) …21.5</p> <p>3 年生 A (十分満足できる) …45.4 B (概ね満足できる) …43.6 C (努力を要する) …11.0</p> <p>◆生徒アンケート</p> <p>あ) 授業にはやる気の出る雰囲気がある</p> <p>そう思う…22.9 大体そう思う…51.7 あまりそう思わない…19.9 そう思わない…5.5</p>
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <p>◆1 年生は前期よりも下降している。A (−1.3 ポイント) C (+4.3 ポイント)</p> <p>2 年生も前期と比べて下降している。(A が−3.8 ポイント) C (+6.3 ポイント)</p> <p>3 年生は前期と比べて改善が見られる。(A が+3.4 ポイント) C (−0.1 ポイント)</p> <p>◆生徒アンケート結果について「そう思う」が 8 ポイント減少している。肯定的回答の割合を前期と比較すると 3 年生は 73.4→86.0 と向上しているのに対して、1 年生は 81.8→71.0, 2 年生は 83.9→68.3 と下降している。</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>・「自ら学ぶ子ども」を育てるためには、「(1) 確かな学力に向けて」の「②質の高い授業への創意工夫を進める」こと「(2) 豊かな心の育成に向けて」の「①主体性、自主・自立、向上心を育む指導を推進する」を両輪とした取組の再点検と推進以外にはない。</p> <p>重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>「3 年生においては一定の成果が認められる」ととどまっている。教科指導と特別活動の質を高めるために教職員間の連携と建設的な議論を日常的に行い、指導者の学びの質を高めることが必要である。</p>

学校関係者評価	<div data-bbox="204 118 608 159" data-label="Section-Header"> <p>学校関係者による意見・支援策</p> </div> <div data-bbox="204 168 1461 394" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の取組を今後も継続的に推進し、その効果を挙げるためにも、日常的に生徒はもとより保護者や地域、学校関係者にその目標と目指す姿を繰り返し共有し、一丸となった取組にしていくことが今後の安祥寺中学校の学校運営のモデルとして肝要である。</li> <li>・全体的に見て、来年の３年生への対応には苦労されるのかなという印象をもつが、諦めず、愛情を持って対応して頂けることを期待する。</li> </ul> </div>
---------	--